

木を植え、森を育ててくださる企業を求めています

伐採跡地を豊かな森に戻したい!

地域の植生を未来につなぐ森づくり

滋賀県高島市



高島の森づくりのために提供できる体験

- ガイドと一緒に森を歩き、地域の森の魅力や課題を知る
- 秋に森で種を拾って蒔き、春に鉢上げし、地域の苗木を育てる
- 伐採跡地を整備し、地域の多様な苗木を植える植栽体験
- 毎年、初夏～秋、植栽した苗木のまわりを草刈り、木の成長を見守る
- 夏に森林整備をして薪づくり、冬に焚火や薪ストーブ体験
- ほか、ご希望をお聞かせください



お問合せ先：NPO法人結びめ

<https://musubime.tv>



上/ガイドとの森を歩きは発見がいっぱいです 下左/古民家を移築した宿泊施設の利用が可能です 下右/地域食材を楽しむお弁当の提供や、近隣の農家レストランでの食事が可能です

高島の森林

戦後に植林されたスギが成長し、伐る時を迎えています。スギは概ね50～60年で伐採して木材として利用します。伐採後には新たな苗木を植え、植栽後も世話をし、森を未来につないでいくことが重要です。

課題・困っていること

伐採跡地の中には、無関心や資金不足などの理由により植栽されない場所や、植栽はされても、その後の世話がされない場所があります。そのように放置されると、ススキやササなどの背の高い草が生い茂る荒地となり、森には戻りません。荒地は森のように雨水を貯える（水源涵養）機能がなく、硬い土が下流に土砂を流します。多様な木々やフカフカの土など、人や動物に気持ちの良い環境が再生されません。

私達が求めていること

伐採後に放置され、荒地になってしまった所を豊かな森に戻す活動をしています。地域本来の植生を未来につなぐため、地域の森の種から育てた苗木を植え、ボランティアさんと世話をしています。荒地は広く、資金も人手も足りません。荒地を整備し、一緒に木を植え、森を育てる活動をしてくださる企業、寄付や支援をしてくださる企業、琵琶湖水源の森に関心を持ってくださる企業を求めています。

自然と自分を見つめなおす タネから育てる森づくり

活動の効果

森づくり活動や資金のご支援などにより、荒地を森に再生し、未来につなぐことができます。発信していただくことにより、森への関心を広げることできます。森づくりはCO2の吸収や、生物多様性の維持につながり、SDGsに寄与します。

サービス一例



秋、木の種を蒔く体験。自分が拾った種も蒔きましょう。



苗木のまわりの草刈り体験。木々の育ちを見守ります。



焚火や薪ストーブ、木が生み出す炎に癒される体験も。